

ガイダンス

1. 実験の予定

- 09月27日（金） 第1回目 ガイダンス・班分け
- 10月04日（金） 第2回目 音環境の測定（その1・実験内容の説明と機器の準備）
- 10月11日（金） 第3回目 音環境の測定（その2・測定の実施）
- 10月18日（金） 第4回目 音環境の測定（その3・補足説明）
- レポート締め切り：10月21日（月）
- 10月25日（金） 第5回目 熱環境の測定（その1・実験内容の説明）
- 11月01日（金） 第6回目 熱環境の測定（その2・現場の見学）
- 11月08日（金） 白亜祭準備のため休講
- 11月15日（金） 第7回目 光環境の測定（その1・実験内容の説明と機器の準備）
- 11月22日（金） 第8回目 光環境の測定（その2・測定の実施）
- 11月29日（金） 第9回目 光環境の測定（その3・補足説明）
- レポート締め切り：12月02日（月）
- 12月06日（金） 環境調整工学の講演会と入れ替え
- 12月09日（月） 第10回目 熱環境の測定（その3・測定計画の立案と機器の準備）
- 12月13日（金） 第11回目 熱環境の測定（その4・測定の実施）
- 12月20日（金） 第12回目 熱環境の測定（その5・補足説明）
- レポート締め切り：01月06日（月）
- 01月10日（金） 第13回目 空気環境の測定（その1・実験内容の説明と機器の準備）
- 01月17日（金） センター試験準備のため講義なし
- 01月24日（金） 第14回目 空気環境の測定（その2・測定の実施）
- 01月31日（金） 第15回目 空気環境の測定（その3・補足説明）
- レポート締め切り：02月13日（木）（テスト期間を避けるため）

音環境：道路交通騒音の測定，室内騒音の測定など

光環境：照度の測定，輝度の測定など

熱環境：温湿度の測定，壁の表面温度の測定，グローブ温度の測定など

空気環境：風速の測定，空気汚染の測定など

原則として3週間で一つの項目の実験を行います。

一つの項目ごとに実験レポートを作成してください。レポートの締め切りは，原則として，（その3・補足説明）を行った翌週の月曜日までとします。例えば，「音環境の測定」の場合は，10月21日（月）が締め切りです。その後，レポートを採点（4段階程度）し，次の項目の（その1・説明）の回のはじめに返却し，講評する予定です。採点には時間がかかるため，月曜日を締め切りにします。

上記の予定は，皆さんと相談したり，検討したりした結果，変更になることも考えられますので，欠席した際などには，十分注意してください。変更がある場合は，できるだけ速やかに掲示するようにします。

本年度は，熱環境の測定で，学外で現地調査を行う予定です。そのため，熱環境の測定は，5回に亘って実施し，さらに前半と後半に分けて実施します。現地調査の回には，3・4限目だけで終わらない可能性もありますので，十分注意してください。また，履修者が確定した後，先方と予定の調整を行いますので，予定が変更になる可能性もあります。なお，移動にかかる費用などの自己負担はない予定です。

実験に使用する部屋は，原則として設備システム実験室（環境共生学部棟西棟（旧棟）の実験実習棟2階）です。なお，（その3・補足説明）は，居住情報実習室（環境共生学部棟西棟（旧棟）の実験実習棟2階）で行う予定です。

実験は，いくつかの班に分かれて行います。無断での欠席は，他の班員に迷惑をかけることになるので，やむを得ず欠席する場合は，他の班員もしくは担当者などに事前に連絡してください。また，他の班員に迷惑がかかることから，履修を途中で放棄することは原則として認めません。

2. 教科書

- 1) 今村仁美・田中美都著「図説 やさしい建築環境」（学芸出版社，2,800円＋税，「建築環境工学Ⅰ・Ⅱ」（2年生担当）教科書）
- 2) 日本建築学会編「建築環境工学実験用教材 第2版」（日本建築学会，1,900円＋税）

新しい項目に入る前には、上記の教科書や2年生の時に配布した配付資料を見直し、復習をしてから臨んでください。例年、授業中の説明だけでは充分理解できないとの声があります。しかし、この実験は、2年生担当の「建築環境工学Ⅰ・Ⅱ」の内容を理解していることを、前提として進めています。「建築環境工学Ⅰ・Ⅱ」の内容が理解できていない人は、今一度勉強し直してください。なお、「建築環境工学Ⅰ・Ⅱ」を履修していない人は、担当者まで相談してください。

3. 参考図書

- 1) 田中俊六監修『最新 建築設備工学』（井上書院，3,200円＋税，「環境設備システム学」（3年生・前期担当，担当者：田中准教授）教科書）

また、その他の参考文献は、毎回配布する予定の資料の最後に載せるなどして、適宜紹介します。レポート作成の際などに参考にしてください。

4. 成績の評価

- 1) シラバスには、「各項目の実験に対して提出された実験レポートの結果を総合して、評価する。」と書かれていますが、実際には出席点とレポートを総合して、評価する予定です。実験ですので、当然ですが、定期試験はありません。
- 2) 出席点が約5～6割、レポートが約4～5割として評価します。
- 3) レポートの提出が一つでも不足している場合は、原則として60点未満の評価とします。

5. 配付資料

講義で配布する資料などは、できるだけ毎回下記のホームページにアップロードしておくので、必要な人や欠席した人は、各自でダウンロードしてください。

<http://www.pu-kumamoto.ac.jp/~m-tsuji/kougi.html/jikkenn.html/kyojikkenn.html>

6. 担当者（レポートの提出先）

質問・レポートの提出先は、以下の担当者まで。

教授・辻原万規彦（主担当）

部屋：環境共生学部西棟（旧棟）4階南西角（407号室）

電話：096-321-6706, もしくは096-383-2929（内線492）

e-mail：m-tsuji@pu-kumamoto.ac.jp

准教授・田中昭雄（副担当）

部屋：環境共生学部西棟（旧棟）3階南西角（307号室）

電話：096-321-6703, もしくは096-383-2929（内線475）

e-mail：a-tanaka@pu-kumamoto.ac.jp

研究室助手・岡本孝美

部屋：環境共生学部西棟（旧棟）3階南西角・田中研究室／4階中央・岡本助手室

電話：096-383-2929（内線482（助手室）／内線475（田中研））

e-mail：okamototkm@pu-kumamoto.ac.jp

7. その他の留意事項

- 1) 主担当の教員（辻原）に対して生理的嫌悪感などを覚える場合には、その時点でその旨を申し出てください。主担当の教員（辻原）自身の努力で改善されるような内容であれば、極力改善するように努めます。しかし、主担当の教員（辻原）自身による改善が難しくなかつ正当だと考えられる理由を書面で提出した場合には、成績評価の際に、出席点に関する考慮を行います。ただし、その場合でも、レポートは必ず提出してください。
- 2) 講義時間以外で、担当者に質問をする際には、メールや電話で事前に連絡した方が確実に時間を確保できます。主担当の教員（辻原）の今年度のオフィスアワーは火曜日3時限（12:50～14:20）の予定です（教務入試課教務班の掲示板などで再度確認してください。）が、この時間帯といえども緊急の会議などの用事が入る可能性もあります。事前に連絡がない場合は、やむを得ず対応できない可能性もあります。なお、特にスマートフォンなどからメールを送る際には、送り主の氏名を明記することを忘れないでください。送り主が明記されていないメールには返答しないこともあります。
- 3) 講義（実験）は、授業開始のチャイムがなったと同時に開始する予定です。チャイムが鳴る前に着席し、遅刻をしないようにしてください。一方、その日の進み具合によっては、講義

（実験）の時間を延長することがあります。講義（実験）終了のチャイムが鳴った後、やむを得ない事情がある場合は、退室しても結構です。ただし、講義（実験）時間の延長がある点に充分注意し、その後の予定を組んでください。

- 4) 講義（実験）などの説明の際には、できるかぎり具体的な事例を交えて説明するように心がけています。しかし、これが雑談に聞こえる場合、もしくは本当に単なる雑談の場合で、それ以上聞きたくないと思われる場合は遠慮なく指摘してください。速やかに次の説明に移るように努力します。
- 5) 主担当の教員（辻原）としては、できるだけ中立の立場から素直に皆さんに話をするように心がけています。しかし、おかしいと感じた際には、遠慮なく指摘してください。直接指摘しにくい場合は、レポートの感想欄に書くか、岡本助手に話すなどして指摘してください。性格については、一朝一夕ではなかなか直らないかもしれませんが、できるかぎり、改善するよう努力します。